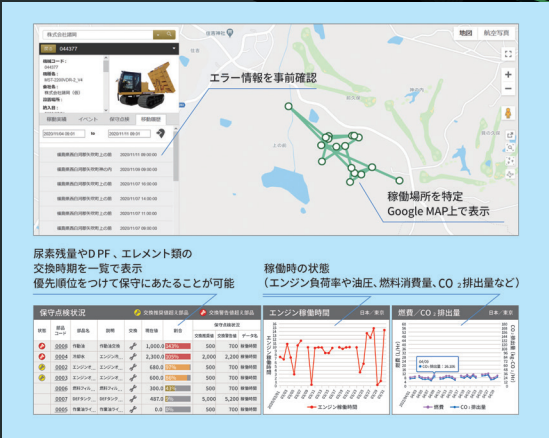
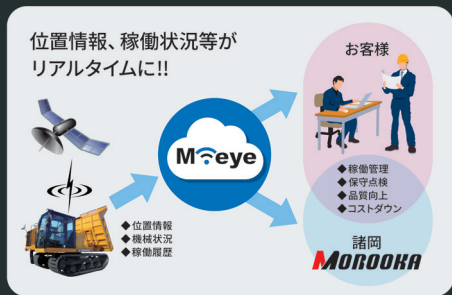


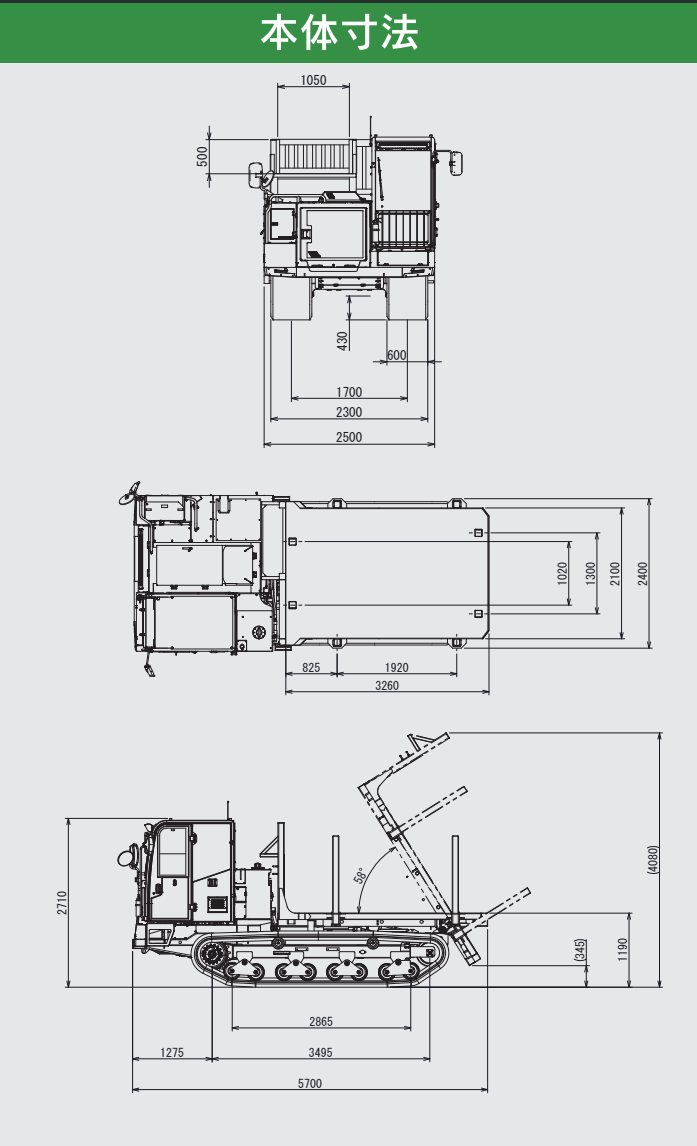
Meye 遠隔管理システムの標準装備

遠く離れた場所でも機械の稼働状況が遠隔管理できるシステム装置を標準搭載しました。
機械の位置情報や稼働状況等がリアルタイムに確認でき、お客様の機械の稼働効率の向上、効果的な運用にも貢献します。



主要諸元		
モデル		MST65F
性能		
最大積載量	kg	6500
走行速度（高／低）	km/h	12.6 / 7.2
接地圧（空車／積車）	kPa	24.8 / 43.4
車両寸法および質量		
運転質量	kg	8700
全長	mm	5700
全幅	mm	2500
全高	mm	2710
最低地上高	mm	430
履帯幅	mm	600
履帯外側幅	mm	2300
荷台寸法		
内法長	mm	3260
内法幅	mm	2100
エンジン		
呼称		クボタ V5009
定格出力／rpm	kW/rpm	151.9 / 2,200
使用燃料		軽油
タンク容量		
燃料タンク容量	L	162
作動油タンク容量	L	159
尿素タンク容量	L	40
オフロード法 排ガス規制届出・基準		
特定特殊自動車の社名及び型式		(申請中)
特定原動機の名称及び型式		(申請中)
排ガス基準		(申請中)

本カタログの内容は予告なく変更することがあります。



MST65F ゴムクローラ式林内運搬車



6.5t
最大積載量

- 最大積載量 6.5 トン
- 電子制御式2本レバー
- クラス最速の走行速度
- 耐摩耗鋼板 HARDOX® 採用
- M-ドライブフィーリングモード搭載
- アンチストール機能
- オートデセル機能
- 従来機の履帯外側幅をキープ



特定特殊自動車排出ガス規制
2014 年基準適合
クボタ社製 V5009 エンジンを採用
PM(粒子状物質) や NOx(窒素酸化物) の排出を大幅に低減し、環境保護へ貢献します。

MOROOKA

株式会社諸岡

web <https://www.morooka.co.jp/>
本社 〒301-0031 茨城県龍ケ崎市庄兵衛新田町 358 Tel.0297-66-2111



MST65F 2025.10.23

環境性能

クリーンな最新型国産エンジン【クボタ製 V5009】

国内のオフロード法 2014 年基準、世界で最も厳しい Stage V 基準をクリアしているクリーンな国産エンジンを採用しました。従来機に比較し、出力が 70%アップしました。



stage V

オートデセル機能を搭載

走行レバーなどを一定時間ニュートラル状態にするとエンジン回転数を自動で下げます。余分な燃料消費や CO2 の排出をおさえ、また、停車状態などでの騒音も低減します。

機能性の向上

アンチストール機能搭載！

積載時・上り坂での走行・旋回動作など高負荷作業時のエンストを防ぐアンチストール機能を搭載しました。これによりスムーズな運転操作ができ、生産性向上にも貢献します。

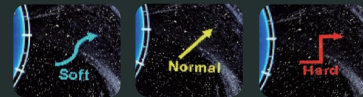
従来機の履帯外側幅をキープ

多くのお客様のご要望にお応えし、従来機の履帯外側幅をキープしたまま、生産性を向上させました。これにより、今まで通りの環境で、パワーアップしたフォワーダをご使用いただけるようになりました。

M-ドライブフィーリングモード搭載



「M-ドライブフィーリングモード」は、電子制御された走行レバーの操作に対し、走行時のフィーリングを3段階で選択できる機能です。車両の動き出しをゆるやかにする「ソフトモード」、キビキビとした動き出しの「ハードモード」、そしてその中間の「ノーマルモード」を搭載。オペレータは、自分の好みで設定でき、より操作しやすくなります。



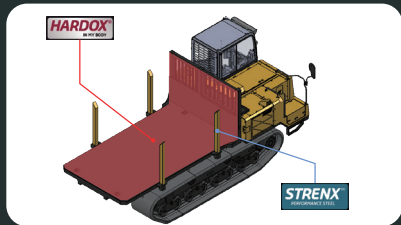
生産性の向上

クラス最速！ 最大積載量 6.5ton 最高走行速度 12.6km/h

従来機に対し、積載量は 18%、走行速度は 24% 向上しました。

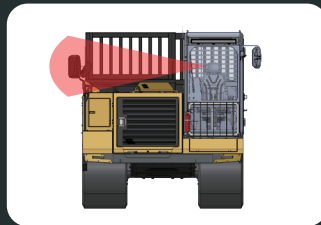
荷台の耐久性を向上

6.5トンクラスの荷台は、床面のみ耐摩耗鋼板の HARDOX® を採用し、最適化を図りました。また、ボールには高強度鋼の STRENX® を採用。荷台の耐久性が全体的に向上しました。



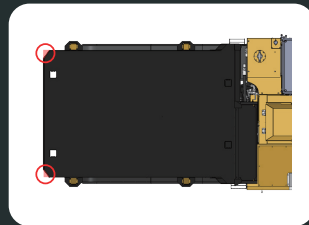
視界性の向上

エンジン後処理装置の配置を新たにし、エンジンカバーを最大限ローダウン。右側視界を大きく確保しました。



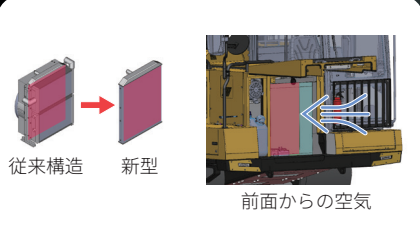
荷台後端の面取り

荷台の後端角部を落とし、空車時に、より小旋回で、立木や法面へのダメージも軽減できるような構造にしました。



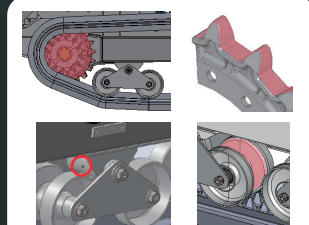
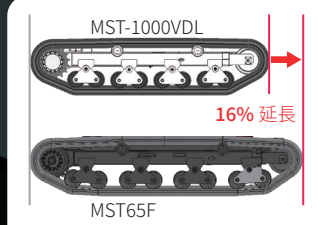
オーバーヒート対策

従来機から、ラジエータの本体および配置を見直し。素材に熱伝導性の高いアルミニウムを採用した上、従来よりも表面積を拡大。冷却性能を高めました。また、オイルクーラーを分離し、ラジエータ前からフレッシュエアーを大きく取り込むことで、排熱効率が大幅に向上しました。



足回りの強化

足回りフレームから新設計し、クローラ長を延長。安定性が大幅に向上しました。また、走行負荷が大きくかかる足回り部品を全体的に強化。スプロケット、トラックローラの芯金接触部には焼入れを行い、ブッシュ素材を銅合金から鉄に変更し強度を上げました。アイドラ、ブッシュには泥入り予防の加工を追加しました。また、グリスニップルを追加し充填を容易にしました。



操作性の向上

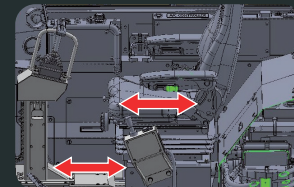
レバーグリップ形状変更

操作性向上のため、微操作がしやすくグリップ性の高い油圧ショベルでも数多く使われているグリップを採用しました。



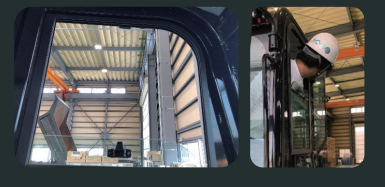
運転ポジションの調整拡張

レバースタンドもスライド式に変更したことで、お好みのポジションでの運転が可能となりました。



窓の大開口

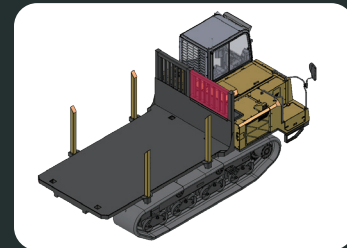
窓を上下開閉式に変更したことで、スイッチバックなどの際に後方確認がしやすくなりました。



豊富な装備

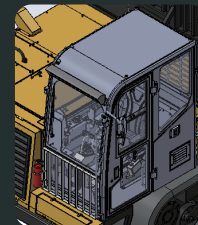
着脱可能ロードデッキ

ロードデッキを着脱式にすることで用途によって切り替えが可能になり、利便性が向上しました。



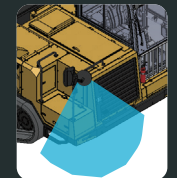
強固で広いキャビン

強固で居住性の高いキャビンを標準装備。前面ガラス下にはガードを標準装備とし、オペレータを危険から守ります。



アンダーミラーを標準装備

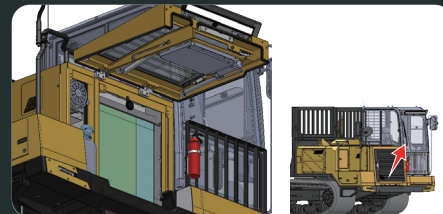
運転席から死角になりやすい、右側前方の視認性を確保するため、アンダーミラーを標準装備しました。これにより、前方の法面なども確認しやすくなります。



メンテナンス性

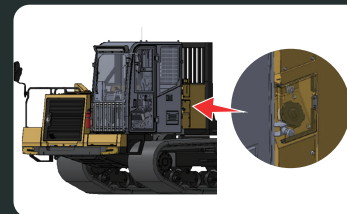
ラジエータ前面のフルオープン

ラジエータ前面を、フルオープン仕様に改良。これにより、エアブローなどでの清掃がしやすくなりました。



給油口位置の改良

給油口をキャビン後方のカバー内に配置。これにより、地面からでも給油が可能となり、作業者の負担を軽減します。



ツールボックス

グリスガンなどの小物を収納できるツールボックスを、キャビン前側に実装しました。

